



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2013年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)
 : 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occ.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 石

◎石叫■

「ケン」

六月十二日の朝、九時過ぎのことだ。電話が鳴ったので、受話器を取ったところ、叫ぶような声が聞こえた。一体何事かと思つて耳を傾けると、星喜恵子姉からではないか。「ケンが今朝八時半に召されました!」と叫ぶではないか。すでに一ヶ月ほど前からホスピス・ケアが始まっていた。病院ではなく、家で最後を過ごすために看護師、医師、ソシアル・ワーカー、ヘルパーがチームで訪問し、看護するという終末医療である。先週の時点で看護師から「ケン後は二週間ほどの命でしょう」と言われていたこともあって、星姉は覚悟していたのだと思うが、それにしても悲痛な叫びに私も呆然としてしまった。彼は二年前にすい臓がんになった。それに罹患すると九十%以上は半年以内に死ぬと言われる。でも、ケンはそれを生き抜いてきた。抗癌治療が功を奏して、奇跡的な回復を見たのだった。それからというもの、以前と同じ体調に戻ったのだが、半年ほど前から背中の中の痛みを覚え、呼吸に異常を覚えるようになった。ガンを再発したのは明らかだった。でも、特定できるような病状ではなかったし、肺にしても雑菌が入って呼吸が困難になっていたのであって、別にガンということも言われてはいなかった。だから今回も乗り越えることができると信じて神にすがってきたのだったが、ホスピス・ケアが始まってからは次第に体調不良を覚え、最後には呼吸が続かずに召されていったのだった。

ケンは一年で聖書を読破するという聖書日課を一九九八年の元旦から、召される前日の六月十一までの二十二日間続けてきた。つまり彼は聖書全巻を二十二回読み通してきたのだった。そして妻の喜恵子さんにも毎日読んで聞かせてきた。それから散歩中とかに、お互い聖書のことを質問し合い、確認し合い、主を真ん中にして三人四脚のような生き方をしてきたのだった。ケンの趣味は、イエス様の時代のランプやコインの収集である。それについては学者のように良く知っていて、時にはその種のマガジンのコラムを書くほどであった。実際にそれらを手にとつて説明してくれる彼の目は実に生き生きとしていた。そして当然のように体力の続く限り礼拝に出ていた。五月第四週の礼拝出席が彼の最後であり、主との交わりこそが彼の生きる力であり、それがすべてであった。

聖書に「彼らの生活の最後を見て、その信仰にないなさい」(ヘブル十三・7)とある。彼ほど聖書に親しみ、主を愛し、主を見上げてきた人物はそう多くはない。彼こそ私の信仰生活の師である。心から彼の歩みに倣いたいと思う。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

